


# はにわ通信

No.257 平成 28 (2016) 年 8 月号

いざわ 江戸時代の射和に  
ちくさい 生まれた竹川竹斎さんは、  
射和地域だけではなく  
日本全体のことも考えた  
人だったんだよ！



## 【射和の文化を築いた一人、竹川竹斎】

現在、はにわ館第 2 展示室で行われている夏季企画展「松阪の文化財」の中から、射和の文化を築いた一人である“竹川竹斎”について、今回はご紹介します。

松阪市射和町は、市中心部から南へ 8km ほど離れた櫛田川左岸にある町で、多気郡多気町との境にあたるあたりにあります。ここは、松阪に城下町が築かれるよりもずっと前から、「軽粉(肌塗りに塗って肌色を美しくみせる仕上げ化粧用品)」の産地として知られ、独自の文化を築いてきました。江戸時代になると、松阪の商人たちが江戸や京都で活躍しますが、射和の商人たちも負けずにはいません。国分家、富山家、家城家、竹川家などが活躍しています。その中でも、竹川家の分家に生まれた竹川竹斎(1809～82 年)は、類まれなる先見性と行動力を持った人物です。

竹斎は、商いの修行で江戸へ行っていった際に農政学や測量学を学びました。江戸での修行を終え射和に帰った頃、「天保の大飢饉」が発生します。彼は、生活に苦しむ射和の人々を救うため、ため池を造ったり、水田を広げたりしました。また、地元で新しい産業を興そうと、茶畑を作って製茶事業を始めたり、現在の射和小学校裏手に万古焼の窯を築いたりもしました。

さらに、人材を育てるために、日本の私立図書館の草分けとも言うべき「射和文庫」を創設してもいます。この他、茶道裏千家の当主玄々斎と親交を深めたり、1853 年にペリーが浦賀に来航して世の中が騒がしくなると、勝海舟との交流を通じて開国を模索するなど、竹斎は多方面で活躍しました。

竹川竹斎の行った事業はすべて成功したわけではありません。しかしながら、彼の郷土を思う心と新しい未来を切り開こうとする力は、今も高く評価されています。(担当)



松阪市文化財センター 夏のイベント	2日 火	3日 水	4日 木	5日 金	6日 土	7日 日	備考
<< 中学生ボランティアガイド >>							・場所ははにわ館第1展示室。 ・実施時間帯は入館無料。
10時～12時					○	○	
13時～15時	○	○	○	○	○	○	
<< 夏休みワークショップ >>							・10時～16時(受付は15時まで)。 ・会場は第3ギャラリー。 ・参加費 100 円(材料代)。 ・所要時間は1時間程度。 ・事前申込不要。
ミサンガづくり(古代の織物)					○	○	
勾玉づくり(古代のアクセサリ)						○	
はにわストラップづくり				○	○	○	

## 【夏の色は……】

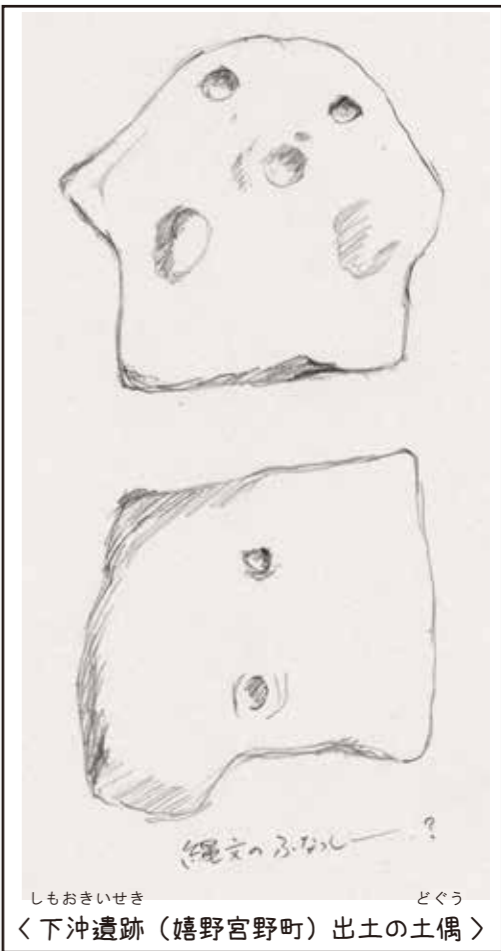
太陽は、この時期に最大のパワーを発揮する。キラキラと容赦なく照り付け、地上のあらゆるものを焦がす勢いである。五行では、夏の別名を「朱夏」という。

かつて埴輪にはベンガラがよく塗られていた。ベンガラは古代からある赤色で、船形埴輪にも一部であるが、その痕跡が残っている。天然の鉱物(酸化鉄)から取り出した無機顔料であり、変色が少なく、防腐効果もあるという。古くは縄文時代から、ベンガラは土器や土偶などに塗られてきた。土器に塗りつけ、焼き上げている。その発色はかなり良かったようだ。赤は血の色であり、火や太陽の色である。さぞかし神聖で意味ある色として扱われてきたのだろう。この赤い顔料はさらに弥生時代から古墳時代にかけて用いられた。

ベンガラは「赤」の仲間の中では、やや彩度は低いが、落ち着いたその色調は、重量感がある。水銀朱とは違う魅力である。近年、平等院鳳凰堂の修復においても丹土と呼ばれるベンガラ系の塗料が使われ、創建当時の色合いに戻ったという。

8月のはにわ館は常設展示「宝塚古墳の謎」とともに夏季企画展「松阪の文化財」の展示です。8月の前半では、市内の中学生によるボランティアガイドを実施します。実施の時間帯は入館無料となります。

市民ギャラリーでは昨年に引き続いて「松阪の偉人たち」展、保育園児造形展を開催します。その他に、市民の皆さんの絵画や焼きものの展示会があります。ぜひ、お出かけ下さい。(所長)



## 文化財センター はにわ館 & ギャラリー 8月の催し物予定

8月の休館日は1日(月)、8日(月)、12日(金)15日(月)、22日(月)、29日(月)です。  
開館時間は 9:00～17:00 です。

【はにわ館】	入館料 100 円 (18 歳以下無料)	* 入館は 16:30 まで
第1展示室	■常設展「宝塚古墳の謎」	
第2展示室	■夏季企画展「松阪の文化財～まちの良いものお見せします!～」	7/16(土)～8/28(日)
【ギャラリー】	入場無料	* 最終日は 16:00 まで
第1・2G	■まつさかの ちっちゃなアーティストたち	～まつさかのほいくえん 園児造形展～
		8/7(日)まで
第3G	■九谷花皿展 前川健佑・前川博子	8/14(日)～26(金) * 最終日は 12:00 まで
第1・2G	■第73回 松阪美術協会展	8/21(日)～28(日)
第2・3G	■第2回 松阪の偉人たち展	8/31(水)～9/4(日) * 9:30～16:30
		* 最終日は 15:00 まで

